

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

2025 年度

法人名	暮らしネットえん	代表者	小島 美里	法人・事業所の特徴	地域に根ざした事業所を目指している。これまで暮らしてきた家族や地域での人間関係を大切に、利用者の希望に添って生活の継続をしていただけるようつとめている。小規模多機能型介護の特性を活かし、出来る限り柔軟に対応して利用者やご家族を支えている。職員間では情報の共有、互いの質の向上に努めている。民家改修型の建物で、家庭的な雰囲気を感じている。利用者、ボランティア、職員が共に過ごす時間が心地よいと感じられるよう努力している。
事業所名	多機能ホームまどか	管理者	菅 嘉子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体（評価シート提出者）	利用者	利用者家族（評価シート提出者）	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	2人	1人	7人	0人	1人	1人	1人	1人	1人	14人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	事業所自己評価 9 項目の次回までの改善計画（目標）は実践可能な内容にする。	改善計画はそれぞれ具体的な計画を意識して立案した（事業所自己評価参照）。結果、具体的な取組みが行われたと評価された。しかし、春に入職して9月に事業所自己評価をしているので関わりの短いスタッフは前回の改善計画の取組みがわかっていない。そのため参加しているスタッフ数（15人）回答スタッフ数（13、14人）の相違があった。主にタブレット端末による記録（ICTの活用）に力を入れた。	ICTの取組みは力を入れているがあくまでも手段であり、その先にどういったケアにつなげられるか、どういう風に共有していけるかを念頭に置きながら進めていただきたい。人権については、成年後見制度についてスタッフはどのように活かしていけばいいのか、必要な人がいたときに案内できる知識を持っていてということである。窓口の紹介などでつなげられればよい。	改善計画は、年度途中で入職した職員にも新人研修に組み込むなど明確にして、全職員が通年で意識できるような仕組みをつくり取り組む。
B. 事業所のしつらえ・環境	運営推進会議の委員の方たち対象の見学日を年間計画に入れる。また、いつでも見学できる体制にあることを運営推進会議等で知らせる。	年間計画に運営推進委員での見学日を組み込めなかった。理由としては事業所が狭く多人数での見学は利用者の影響が出ると判断したからである。2027年3月に移転を予定しているため引っ越し以降は可能である。また、消防訓練やコンサート等の行事には委員の方々には参加をお知らせした。	今、この時代に施錠されていないのは防犯の意味でどうなのか（地域の代表）。日中は常に人の出入りがあるので施錠をせず見守りを十分行う。	運営推進委員の方々に消防訓練やコンサートの他にもまどか内で行っているミニコンサート等行事のお知らせをして参加していただける機会を増やす。

C. 事業所と地域のかかわり	地域の方々が事業所に訪れる「まどかコンサート」を開催し、地域とのつながりを深める努力をする。	「まどかコンサート」は3月1日に開催、総参加者数 66 人であった。地域の方々が半数以上を占め、初めて事業所を訪れた方もいた。次回を期待する感想が多く聞かれた。	まどかコンサート、直近では前年度の3月25日で今年度は開催していないのではないかと。	「まどかコンサート」で地域に周知を図り、ボランティアの受け入れの継続など地域とつながる機会をもつ。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	オレンジカフェに出かけ地域の方々と交流を深めると同時に地域に方たちにも認知症のある方と接する機会を持っていただく。	オレンジカフェには月1回出向いた。法人内のカフェ参加のため限定した曜日のため、その日の利用者が参加、その他の利用者、家族にお知らせを配布したが参加はなかった。	Dの設問の中の「利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議」とは担当者会議のことか。開くとしたら、本人の同意を得て地域の人や民生委員が入ることになると思うのだが、開いてほしいと思う。	利用者本人がどのように地域と関わっているのか、スタッフ間で情報共有をする機会を作り暮らしを継続する工夫を検討する（地域住民を交えた会議も含む）。
E. 運営推進会議を活かした取組み	会議では報告が中心になりがちなので、事業所として整理し意見をいただく。	今年度は会議でアドバイスを受けたので「利用者にとってどうだったのか」を意識して報告した。よりリアルに事業所の様子を報告できた。また、会議内でボランティアとして関わってくださっている委員の方々からも様子等を伺うことができた。話された内容はスタッフミーティングで報告した。	「地域の心配な方等の事例検討が行われているか」の設問は民生委員の方からの事例がこれにあたるが、運営推進会議は事例を掘り下げて話す場ではないととらえてもらって構わない。	運営推進会議で迷っていることなども議題として挙げて、委員の方々に意見やアドバイスをもらい、運営に反映させる。
F. 事業所の防災・災害対策	10月までに事業所の防災計画等を利用者や家族、運営推進会議の委員の方々等に説明し、事業所の対策等をご理解いただく。	10月に防火管理者の交代があり運営推進委員の方に報告、防災計画書は12月に配布することになった。利用者・家族には防災関連の取り組みや計画の変更を報告した。	利用者・家族には知りたいことを説明する、でよいのではないかと。町会の訓練にも参加していた。何かの時にはお互いに助け合える関係が必要。	町会の防災訓練等に参加し地域連携を継続する。